



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 不二ラテックス株式会社
 コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 金原 辰弥
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3293-5686

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,912	6.9	39	75.8	20	87.0	16	85.6
2019年3月期第1四半期	2,053	2.5	165	2.4	159	0.0	116	3.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 13百万円 (90.0%) 2019年3月期第1四半期 131百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	13.16	
2019年3月期第1四半期	91.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,796	3,189	23.1
2019年3月期	13,567	3,240	23.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,189百万円 2019年3月期 3,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	1.8	390	19.5	380	21.4	250	9.8	196.90
通期	8,600	3.1	800	31.0	780	47.9	530	33.2	417.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,286,199 株	2019年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	16,603 株	2019年3月期	16,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,269,597 株	2019年3月期1Q	1,269,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足元の企業収益の悪化を受けて製造業を中心に景況感が下押しされており、経済成長率の力強さに欠く状況となっています。世界経済は全体として緩やかに減速の見通しであり、米中貿易摩擦の長期化、米国や欧州各国の政策動向、中国の景気減速など依然として先行き不透明な状況による経済の下振れリスクが高まっています。

かかる状況は、中核事業である医療機器事業および精密機器事業の市場環境に影響し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、19億1千2百万円と前年同四半期に比べ1億4千1百万円(△6.9%)の減少となりました。

利益面では、営業利益は3千9百万円と前年同四半期に比べ1億2千5百万円(△75.8%)の減益、経常利益は2千万円と前年同四半期に比べ1億3千9百万円(△87.0%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千6百万円と前年同四半期に比べ9千9百万円(△85.6%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては、商品の認知度向上を狙いにWeb広告や販促企画を展開し、大型小売店や大手ネット販売を中心とした販路開拓に継続的に注力しました。消費の減少傾向、価格の二極化、新素材製品のシェア上昇により厳しい状況が続くものの、新素材コンドームSKYNの定番化、ネット販売の伸長により売上は拡大しました。また海外市場においては、特に中国市場における高価格帯製品に対する需要後退を受け、販売が減少しました。

超音波診断装置等のプローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については、アレルギーフリー新素材製品に対するニーズが引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は6億2千1百万円と前年同四半期に比べ3千6百万円(△5.5%)の減少となりました。

セグメント損益は、売上減少に加えて競争激化に伴う利鞘の縮小、栃木千塚工場の竣工に伴う償却負担増加もあり2千9百万円の損失(前年同四半期は1千万円の利益)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは総体的にみて堅調に推移しました。国内市場では主要市場として位置付けている住宅設備、家電、複合機等の各分野において堅調な受注が続いた一方で、半導体製造設備等の一般産業用生産設備、工作機械、建機分野等における受注は伸び悩みました。海外市場では一部取引先に対する出荷調整等の影響もあり、販売計画を下回りました。また製造原価に占める労務費の増加等が利益の圧迫要因となりました。

この結果、売上高は、11億4千4百万円と前年同四半期と比べ9千4百万円(△7.6%)の減少となりました。

セグメント利益は、1億8千5百万円と前年同四半期と比べ7千8百万円(△29.8%)の減益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は安定的な受注が見込めるものの、商材の逼迫などが影響し、販売計画を下回りました。この結果、売上高は1億2百万円と前年同四半期に比べ2千2百万円(△17.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、0百万円の損失(前年同四半期は6百万円の利益)となりました。

④ その他

食容器など夏商材の受注が順調に推移し、売上高は4千3百万円と前年同四半期に比べ1千1百万円(36.6%)の増加となりました。

セグメント利益は、7百万円と前年同四半期と比べ1百万円(△18.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、137億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億2千9百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の9千9百万円、商品及び製品の1億1千4百万円の増加などでありま

す。
負債総額は106億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億7千9百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の2億7千9百万円の増加などでありま

す。
純資産総額は31億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ5千万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の4千6百万円の減少などでありま

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の2019年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898,545	1,997,666
受取手形及び売掛金	1,922,573	1,881,741
電子記録債権	391,195	417,383
商品及び製品	575,922	690,134
仕掛品	792,658	877,896
原材料及び貯蔵品	748,116	748,856
その他	223,328	103,327
貸倒引当金	△847	△770
流動資産合計	6,551,491	6,716,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,883,503	2,918,419
土地	1,848,498	1,848,498
その他(純額)	1,685,455	1,685,278
有形固定資産合計	6,417,457	6,452,195
無形固定資産	81,469	86,902
投資その他の資産		
その他	511,608	536,592
貸倒引当金	△2,100	△2,100
投資その他の資産合計	509,508	534,492
固定資産合計	7,008,434	7,073,590
繰延資産	7,190	6,674
資産合計	13,567,117	13,796,500
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,359	311,387
電子記録債務	1,080,963	1,109,860
短期借入金	2,788,000	3,067,000
1年内返済予定の長期借入金	505,776	533,554
未払法人税等	29,801	44,921
賞与引当金	141,511	247,886
その他の引当金	—	18,698
その他	886,417	725,727
流動負債合計	5,721,829	6,059,034
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	3,244,184	3,193,851
退職給付に係る負債	131,159	121,765
その他	829,800	832,247
固定負債合計	4,605,143	4,547,863
負債合計	10,326,973	10,606,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,026,555	1,979,781
自己株式	△36,109	△36,264
株主資本合計	2,881,908	2,834,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,967	81,986
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	6,065	8,178
退職給付に係る調整累計額	△16,558	△14,302
その他の包括利益累計額合計	358,234	354,622
純資産合計	3,240,143	3,189,602
負債純資産合計	13,567,117	13,796,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,053,615	1,912,425
売上原価	1,527,264	1,498,876
売上総利益	526,350	413,549
販売費及び一般管理費	361,327	373,684
営業利益	165,023	39,864
営業外収益		
受取利息	31	37
受取配当金	3,321	3,764
受取賃貸料	1,133	3,399
為替差益	4,408	—
その他	1,850	2,926
営業外収益合計	10,745	10,128
営業外費用		
支払利息	11,444	19,863
賃貸費用	613	899
シンジケートローン手数料	3,194	1,875
その他	612	6,604
営業外費用合計	15,864	29,242
経常利益	159,904	20,749
特別損失		
固定資産除却損	9	335
固定資産売却損	43	—
特別損失合計	52	335
税金等調整前四半期純利益	159,852	20,413
法人税、住民税及び事業税	70,347	38,385
法人税等調整額	△26,866	△34,680
法人税等合計	43,480	3,705
四半期純利益	116,372	16,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,372	16,708

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	116,372	16,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,326	△7,980
為替換算調整勘定	△1,497	2,112
退職給付に係る調整額	2,129	2,255
その他の包括利益合計	14,958	△3,611
四半期包括利益	131,330	13,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,330	13,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	657,795	1,239,266	124,927	2,021,989	31,626	2,053,615	—	2,053,615
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	657,795	1,239,266	124,927	2,021,989	31,626	2,053,615	—	2,053,615
セグメント利益	10,517	264,128	6,087	280,733	8,749	289,482	△124,459	165,023

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△124,459千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	621,712	1,144,759	102,759	1,869,231	43,193	1,912,425	—	1,912,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	621,712	1,144,759	102,759	1,869,231	43,193	1,912,425	—	1,912,425
セグメント利益 又は損失(△)	△29,254	185,370	△61	156,055	7,143	163,198	△123,334	39,864

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△123,334千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。